

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔教育学部(第四類)〕

プログラムの名称	(和文) 人間生活教育副専攻プログラム
	(英文) Human Life Sciences Education
1. プログラムの紹介と概要 本プログラムは、人間生活教育プログラムを担当する教員が提供するもので、人間生活教育の原理、内容、方法についての基礎的な理解と実践力の修得を目的としている。開設科目は、(1) 時代の変化に対応できる自立した生活者としての能力や人間生活環境を創造し実践する基礎的な知識を習得する科目、(2) 家庭を中心とした人の行動や行為を多面的に理解する科目、(3) 衣、食、住など生活全般に関する科学的知識を修得する科目である。これらの科目を学習することにより、多様化する価値観や社会構造の変化に対応し、生活者としての広い視野と実践力を身につけることができる。	
2. プログラムの到達目標 衣、食、住など生活全般に関する基礎的な知識を身につけ、時代の変化に対応できる自立した生活者としての能力や人間生活環境の創造に関する実践力を身につける。	
3. プログラムの履修時期・要件 (1) 履修開始時期とプログラム登録時期 本副専攻プログラムの開始時期は、2年次である。履修はいつでもよい。プログラム登録時期は2年次以降いつでもよい。 (2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等) 既修得要件は設定しない。 (3) 履修上の注意点 人間生活系コース(人間生活教育プログラム)を主専攻としない学生が一種免許(家庭)を取得するには、本副専攻プログラム以外に幾つかの科目も履修しなければならないので注意をすること。	
4. 教育内容・構造 修了に必要な単位数は、提供される専門基礎科目・専門科目から20単位。ただし専門基礎科目12単位以上を含むこと。	
5. 授業科目及び授業内容 専門基礎科目 人間生活(家庭科)教育概論, 家庭科教材構成論, 生活経営学, 生活経済学, 保育学, 住居環境学, 食生活栄養学, アパレル素材学	

専門科目

家族関係学, 食品科学, 調理科学, アパレル管理科学, アパレル設計学

※ 履修表は別紙参照

※ 授業内容は, 各年度に公開されるシラバスを参照すること。

6. 評価

(1) 試験・成績評価

授業科目の成績評価は, 秀, 優, 良, 可及び不可の5段階評価とする。

(2) 修了判定の基準

履修表に掲げる科目のうち, 必要な単位数を取得すること。

7. プログラムの責任体制

責任兼担当者 人間生活教育学講座 講座主任

担当者 人間生活教育学講座教員全員

8. プログラムの受入上限数

制限無し。

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

(2) での認定単位数を含めて8単位を上限とする。

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

(1) での認定単位数を含めて8単位を上限とする。

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で, 登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も, 本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

人間生活教育副専攻プログラム 履修表

科目区分	授業科目	開設単位数	学期別週授業時数 (履修期)						要 修 得 単 位 数	開 設 学 部	備 考
			3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ			
専門 基 礎 科 目	人間生活（家庭科）教育概論	2	2						12	教育 学 部	
	家庭科教材構成論	2	2								
	生活経営学	2		2							主専攻プログラムでは2セメ
	生活経済学	2	2								
	保育学	2			2						
	住居環境学	2		2							
	食生活栄養学	2		2							
	アパレル素材学	2	2								
専門 科 目	家族関係学	2				2			8		
	食品科学	2		2							
	調理科学	2			2						
	アパレル管理科学	2		2							
	アパレル設計学	2	2								
合計									20		

〈履修上の注意〉

1. 専門基礎科目12単位以上を取得すること。
2. 中学校・高等学校教諭一種免許(家庭)を取得する学生は生活経営学を2セメで履修しておくこと。